

Eblo Report 2010

Communication on Progress

わたしたちは、国連グローバルコンパクトの10の原則に準拠し、
コミュニケーション活動を通して
サステナブル社会の構築に貢献してまいります。

編集方針

Grow Up! 見える。取組む。成長する。

初のCommunication on Progress(COP)を発行するにあたり、本レポートの制作自体をこれまで当社が取組んでまいりましたキャリア教育活動の一環として、当社自体を教材に、CSRレポートの制作を産学連携して行うことを決定し、制作プロジェクトを立ち上げました。

私たちが考えた本プロジェクトの目的は、ニッセイエプロが「よりよい企業になる」ということです。私たちの考える「よりよい企業」とは、売上や企業規模の大小ではなく、そこで働く社員をはじめ、その企業と関わる全ての人々が、責任ある市民として、個人や企業を取巻く社会に関心を持ち、持続可能な社会のために考え行動する、そうした土壌を持つ企業のことです。

私たちは本プロジェクトのコンセプトを

「Grow Up! 見える。取組む。成長する。」としました。

初年度は、「見える化」を編集方針としました。

これは、社員に自社についてより知ってもらうと言うことです。自社のことを知ることによりはじめて、改善点やより伸ばすべき点が明確になり、よりよい企業に向かっての取組みができるからです。また、当社と関わりのあるお取引先様、協力会社様の方々には、ありのままの当社を、変わっていく当社を、より詳しくお伝えすることができ、当社の小さな取組が少しでも良い影響として広がっていくことを望みます。

私たちは2010年「見える化」を実現し、2011年には、2010年で見えた改善点や伸ばすべき点を踏まえて「取組み」を強化し、2012年には、企業としてひと回りもふた回りも大きく成長する。そうした3ヶ年のスパンで「よりよい企業」に成長するよう本プロジェクトを位置付けました。この報告書は、国連グローバル・コンパクトへCommunication on Progress(COP)として提出するばかりではなく、当社の成長のスパイラルアップを図るツールとして発行致します。

ニッセイエプロ株式会社 グローバルコンパクト推進委員会
武蔵野大学 環境学部 佐々木重邦ゼミCOP制作プロジェクト

 <small>This is our Communication on Progress in implementing the principles of the United Nations Global Compact. We welcome feedback on its content.</small>		グローバル・コンパクトの10の原則
 人 権	企業は、	原則1:国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、 原則2:自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。
 労働基準	企業は、	原則3:組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、 原則4:あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、 原則5:児童労働の実効的な廃止を支持し、 原則6:雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。
 環 境	企業は、	原則7:環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、 原則8:環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、 原則9:環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。
 腐敗防止	企業は、	原則10:強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

GCの理念に基づいた経営を持続し、 社会に求められる会社へ成長させます。

1 グローバルコンパクトへの加盟は、「良い会社」の1つの指針

ビジネスを行っていく上で、社会に対して責任ある行動を求める理念に共感を覚え、こうした企業になりたいと思ったことがグローバルコンパクト加盟の大きな理由です。

また、加盟することによって、その原則を守る義務が生まれます。

年一度のCommunication on Progressの発行により、事業活動をGCの10の原則に基づいて棚卸作業を行うことができ、結果、これまでの活動内容の検証と今後の活動方針、活動内容の検討を客観的に行うことができました。このプロセスが私たちを「より良き企業市民」へと成長させてくれます。こうしたことがしっかりとできていない会社は、これからは淘汰されていくと思います。今後も、宣言に相応しい会社になる様、ますます努力していく必要があると考えています。

2 Win-Winの関係を築き、社会に貢献できる会社

会社経営で大切にしていることは、基本に立ち返ること。会社は何のためにあるのかと考えたとき、社会のため、利害関係者のため、社員、お客様、地域の皆様のためにあるということ意識しています。そしてこれらのステークホルダーと共存していくWin-Winの関係を築きたいと思っています。どちらかだけが得をするのではなく、お互いに利益を生む関係を作る必要があります。こういった経営理念の下、CSR活動は企業の根幹と位置付け、事業を通して世の中を良くしていき、人々を幸せにしていかなければなりません。逆に言えば、これができなければ企業の存続する意味はないと考えます。

3 社会の変化に敏感になり新しいことに挑戦する

私たちが携わってきた広告・印刷・出版などは厳しい状況に置かれています。ネット社会の急激な進展に伴い、旧来型事業の需要が縮小しているのも事実です。私たちの業界に限らず、世の中全体が不況傾向にある中、社会の変化にいち早く対応し、GCの理念に基づいた新しい経営、市場の創造が会社存続のキーポイントになり、事業の持続可能性を高めることに繋がります。

これは、当社が社会に求められる企業に成長することであり、社員を社会に求められる人材に育成することに繋がります。

社会への新たな挑戦は、私の目指すところであり、社員に求めるところです。

代表取締役社長

亀田 修平



Activities

事業内容

事業テーマ

我々はコミュニケーション分野の課題解決型企業として顧客に最適な価値を提供することを追及し続けます。

ミッション

ヒトと社会を豊かにするコミュニケーションの創造

Business Concept Chart

